

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	インターネット議会中継システム事業				会計	款	項目	大	小
					01	01	01	03	53
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			主管課	議会事務局			
施策	6-2	健全で効率的な行政運営			主管課長	矢口 道夫			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	市民に開かれた市議会の実現に向けて、更なる情報公開と情報の共有化に努める。
事業内容	本会議の様子を、インターネットによって、ライブ中継及び録画配信することによって、直接、傍聴に来られない市民の皆さんに議会の情報を迅速に発信し、議会活動への参加、理解を推進することができる。			
事業開始から現在までの状況変化	議会の結果および意見等は直接議会を傍聴するか、会議録が作成されるまで公表する機会がなかった。インターネット中継にて配信することにより、自宅において議会の視聴ことができ、さらに会議内容をより迅速に市民に対して知らせることが可能となった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	本会議・臨時会開催日数	27	25	25	日	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 本会議におけるインターネットによるライブ中継と録画配信及び議会運営委員会、各常任委員会、特別委員会におけるUSTREAM中継、録画配信を実施している。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		8,152,567	7,720,033	7,015,008			
事業費(b)(円)		2,091,767	1,977,633	2,124,108			
うち一般財源		2,091,767	1,977,633	2,124,108			
職員給与費(c)(円)		6,060,800	5,742,400	4,890,900			
人役・職員(人)		0.80	0.80	0.70			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	USTREAM中継の安定的な配信の技術向上と視聴者数増に向けてホームページ上でのPRを充実させる。	③取り組みの課題	2つ委員会を同時開催することもあり、中継環境の改善が必要である。
②今年度(H25)に実施した取り組み	委員会の開催日には、ツイッターで開催時間をツイートしている。	④今後の改善計画	議会フロアの通信環境の改善、中継に利用する機器（パソコン）の更新を行う。